

地域のできごと

R5.9

農村生活マイスター協会更埴支部が視察研修に行きました

晴天に恵まれた7月25日、猛暑のなか更埴支部会員20名が参加して、柄木田製粉株式会社工場(長野市)と白馬農場株式会社(白馬村)を視察しました。

柄木田製粉株式会社では白衣に身を包み、2班に分かれて製粉工場内を見学しました。製粉の工程の中の「**ロール機**」→「**篩分け・仕上げ**」→「**袋詰め**」と、バラ出荷のタンクローリーに粉が入っていく様子を見ました。日本の小麦の輸入先はカナダ、アメリカ、オーストラリアからが多く、柄木田製粉さんでは国産は約20%使用していて、月2,000tの小麦を製粉していると説明していただきました。

昼食は白馬農場さんが経営している「農かふえ」でランチとジェラートをいただきました。豚肉以外はほとんど自社栽培材料、「ロスを出さない」を心がけているとのことでした。

白馬農場株式会社では、米の貯蔵施設、ベンチ栽培のイチゴハウス等を見学しグランピング場で会長の津滝さんからお話を伺いました。耕作放棄地の増加を懸念して2004年に会社を設立し、水稲、大豆、そばを中心に栽培し30名程を雇用していて、若い人が農業を「職業」として続けていけるような雇用形態を構築している点は先進的と感じました。おいしいもので「胃袋をつかむ」をモットーにSDGsにも積極的に取り組んでおられました。

久しぶりの視察研修ということで多くの参加があり、清々しい白馬三山を眺め、情報交換もでき、暑い中でも頑張るための英気を養う一日となりました。(地域第二係 柳澤)



工場の担当者から説明を聞く



ロール機



高設ベンチのイチゴハウスで試食



津滝ご夫妻と記念撮影